



# えんじゅ

春日市立春日小学校  
校長室便り No.7  
令和4年7月7日  
文責：校長 福島

## 「校長先生ー！」



今日は7月7日七夕。「えんじゅ」もNo.7ということで、最近あったうれしかったことを書きます。

朝校門に立って子供たちを迎えていると、時々「校長先生ー！」と校舎から声をかけてくれる子供がいます。「どこだろう」探すのに時間はかかりますが、見つけると手を振って「おはようございます。ありがとう！」と応えます。先週は4階の5年4組の子供が声をかけてくれました。金曜日には、放課後に用があって4階の教室の窓を開けて作業をしていると、サッカーの練習に来ていた低学年の子供たちが「校長先生ー！」と運動場から手を振ってくれました。「こんにちは。がんばってるね。熱中症に気を付けてくださいね。」手を振って会話を交わすだけですが、わざわざ声をかけてくれることがうれしくて、心があたたかくなりました。

4年前に私が春日小に来た時も同じ子供の姿がありました。西門に朝立っていると当時の3階の教室から「校長先生ー！」と新しい校長の私に声をかけてくれたことを鮮明に覚えています。

子供たちが声をかけてくれるのは、たまたまではないと思っています。声をかける子供の回りにはたくさんの子供たちがいます。声をかけることが特別なことではないという安心感が生み出す行為です。ずいぶん遠くにいる私にわざわざ声をかけるというのは、好意も持ってくれているのだらうと思います。

春日小の先生は、自分を表現すること、相手に反応することを大切にします。挨拶をよくする文化も、そんな指導の積み重ねの一端です。4年という月日が流れても変わらないこの子供の姿は、学校の宝物です。安心して自分がやりたいことができる学校でないといけません。

「潤いのある学校」には、そんな願いが込められています。私も笑顔と安心と対話を絶やさないように努力していきます。

